

～ 春の移動時期の新型コロナウイルス感染拡大について ～

患者・組合員のみなさまへ

本年2月下旬から3月中旬にかけて、鹿児島県の感染者数が減少しほっとしていたところですが、進学や人事異動で県をまたぐ人の移動が増える年度初めとなりました。第4波が来たかと懸念される県が増加し、変異株の問題やワクチン供給の不透明さなどで、みなさまも不安が増してきているのではないのでしょうか。当院の職員に対してはマスク着用、手洗い、3密を避けるといった基本対策の励行をあらためて呼び掛けているところです。

このような中、お身体のことはもちろん、日々の生活面での心配事、お困りごとなどありましたらご相談下さい。私たちの力だけですべてのことを解決できる訳ではありませんが、行政をはじめ、他の地域医療機関や介護福祉施設等とも連携・協力をはかりながら、みなさまの心配事やお困りごとの解決に向けてともに取り組んで参ります。

また、当院では患者・組合員のみなさまが安心して受診していただけますよう感染防止に取り組みながら医療・福祉活動をすすめております。感染防止の観点から、慢性疾患等で当院を定期受診されており、体調も安定されている方につきましては電話再診（電話による診療）も行っておりますので、ご相談下さい。また、経済的な理由で受診ができずにお困りの方には、各種制度の紹介や申請手続きの支援、当院で実施しています無料低額診療事業の活用などをご案内しております。詳しくは、ホームページにも内容を掲載しておりますのでご参照ください。ご不明な点は地域連携室までお気軽にご相談ください。

私たちは、鹿児島市南部地域の救急医療を守る医療機関の一つとして引き続き役割を果たし、地域の患者・組合員のみなさまの気持ちに寄り添いながら、健康づくり・まちづくりに取り組んで参ります。

2021年4月1日

総合病院鹿児島生協病院

院長 樋之口 洋一